



▶ 新春の挨拶とともに 2026年の飛躍を誓う

—ベトナム国家大学ハノイ校代表団もホアラックキャンパスを訪問—

2月23日、日越大学はホアラックキャンパスにて新春（テト）行事を開催し、教職員が一堂に会して2026年の幕開けを祝いました。ベトナム国家大学ハノイ校（VNU）からは Nguyễn Hiệu 常務副総長をはじめとする代表団も来訪し、教職員に旧正月の祝辞を贈りました。

古田元夫学長は全教職員に新年の挨拶を行い、日越の「大きな家族」として引き続き開拓精神を発揮し、イノベーション・創造・持続可能な発展を推進していく決意を表明しました

来賓の Hiệu 常務副総長は、2026年が VNU にとって飛躍と加速の転換点となる年であることを強調し、VNU 発展戦略（2026～2035年、2045年を見据えた展望）の実施に向けた決意を示しました。10年以上にわたる日越大学の発展を高く評価するとともに、ホアラックに拠点を置く最初の VNU メンバー大学として VNU の発展に貢献していくことへの期待を表明しました。

今月号の内容

- 新春の挨拶とともに 2026年の飛躍を誓う
—ベトナム国家大学ハノイ校代表団もホアラックキャンパスを訪問—
- Dr. Nguyễn Ngọc Vinh 先生が国際共同研究の成果をトップジャーナルに発表
- 2026年度学部入試の出願受付を開始 —9プログラム・定員800名—
- 日越大学学長 古田元夫先生のご紹介
- BCSE1年生の Hoàng Phương Đông Hòa さんが日本語スピーチコンテストで奨励賞を受賞

▶ Dr. Nguyễn Ngọc Vinh 先生が国際共同研究の成果をトップジャーナルに発表

先端工学・技術 学部・研究科の Dr. Nguyễn Ngọc Vinh 先生の研究論文「Enhancing fire resistance and mitigating spalling in non-fibrous UHPC using calcined bauxite aggregate」が、国際学術誌 Journal of Building Engineering（第 118 号、2026 年 1 月 15 日出版）に掲載されました。同誌は Scimago ランキングで Q1 に分類され、建築分野で世界トップ 1% に位置づけられるトップレベルの学術誌です。

本研究は、日越大学と韓国・世宗大学（Sejong University）との国際共同研究として実施されました。Vinh 先生は世宗大学で博士号を取得しており、海外の研究機関との学術ネットワークを活かしながら国際的に研究活動を展開しています。今回の論文掲載は、こうした国際共同研究の取り組みが着実に成果を上げていることを示すものです。



▶ 2026 年度学部入試の出願受付を開始 —9 プログラム・定員 800 名—

1 月 5 日、日越大学は 2026 年度学部入試の出願受付を公式に開始しました。今年度は 9 つの学部プログラムで合計 800 名を募集しています。入試方式は、面接・評価選抜、VNU の能力評価試験（HSA）、SAT、外国語資格と高校卒業試験の組み合わせ、推薦入試など多様な方式が用意されています。

出願開始に合わせて、入試広報活動も各地で展開されています。1 月にはハノイやゲアン省、フート省・ニンビン省などで説明会が開催されました。各会場では多くの高校生や保護者が訪れ、入試方式や教育プログラムについて活発な質疑応答が行われました。

入試の詳細: <https://vju.ac.vn/ttts2026/>





日越大学学長 古田元夫先生のご紹介

日越大学古田学長が2026年4月11日で任期満了を迎えられ、学長を退任されます。この10年以上にわたる古田先生のご活躍を今月号(2月号)と来月号(3月号)でご紹介します。

古田先生の研究分野について教えてください。

東京大学教養学部教養学科で学部の学生時代が、ベトナム戦争が激化した時期と重なっており、ベトナムを中心に世界が回っているように見えた時代です。世界の中心であるベトナムのことがわかれば、他の世界のことは容易に理解できると思って、ベトナム研究を始めました。私にとっては、ベトナムは「初恋の人」のような存在です。その後、半世紀以上にわたって、この「初恋」に忠誠をつくり、ベトナム一筋の研究生活を送ってきました。

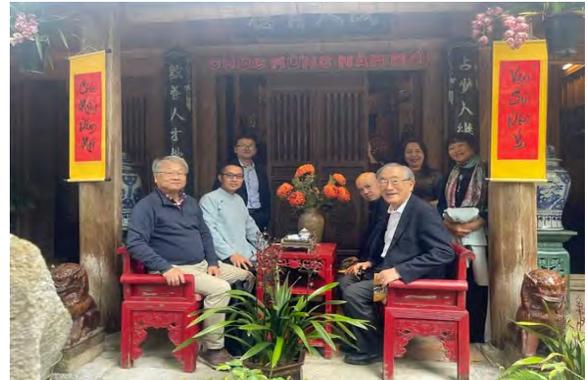


日越大学との出会いはいつでしたか。

私よりも年上の日本のベトナム研究者は、欧米で博士号をとるのが普通でした。一方、ベトナム留学はできませんでしたが、私はベトナムの研究者の方々の多大な支援のおかげで、博士論文を書いた、いわば<made in Vietnam>のベトナム研究者でした。日本とベトナムの学術交流の発展は、お世話になったベトナムの先生方へのお礼という意味もあります。1993年にハノイ国家大学設立時には、お世話

になっていたベトナムを代表する歴史学者のファン・ファイ・レ教授の紹介で、国家大学の総長に会い、国家大学の国際化のために協力してほしいという依頼を受けました。日越大学がハノイ国家大学の傘下に発足する伏線となります。

2009年に開催された第一回日越学長会議 (the 1st Conference of University Presidents of Vietnam and Japan)の時に、ベトナム側から日本にはじめて、公式に日越大学の構想が提示されました。この日越大学構想には、日本ベトナム経済フォーラムも注目し、この構想を検討する大学関係者のグループができました。



その中には、私の他、現在筑波大学学長で、日越大学連携校連絡会長の永田恭介先生、日越大学理事の内田勝一早稲田大学元副総長、日越大学理事で国際教養大学学長のモンテ・カセム先生がおり、「日越大学4人組」と自称していました。この流れで、2016年の日越大学発足時に、学長をお引き受けすることになりました。

古田先生の最終講義のお知らせ

古田先生は4月11日に退任されます。3月24日午前、古田先生の最終講義をハノイ市内で開催します。最終講義の様子はメルマガ2026年3月号でも紹介します。

▶ BCSE1年生の Hoàng Phương Đông Hòa さんが日本語スピーチコンテストで奨励賞を受賞

2月1日、学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラム1年生の Hoàng Phương Đông Hòa さんが、日本語スピーチコンテスト「Samurai Speech Contest」の決勝に出場し、奨励賞を受賞しました。決勝はハノイで開催され、11名の出場者が筆記試験と「日本についての特別な思い」をテーマとしたスピーチコンテストを通じて競い合いました。

Hòa さんは「日越大学に入学してから日本語の会話を始めたばかりなので、この賞はこれまでの日本語学習の努力の証のようなものです。自分の成長が実感できて嬉しいです」と喜びを語っています。



■ 日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

JICA プロジェクトページ (ODA 見える化サイト、メルマガのバックナンバーもこちらから)

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1901195/index.html>

■ 産学連携・採用に関する問い合わせ

E-mail: cooperation@vju.ac.vn

■ メルマガに関するお問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトメルマガ編集部

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト